

GHS-0086

## 安全データシート

製品名 PCB分析前処理カラム 濃縮カラム 絶縁油中PCB用

作成日 2010年5月21日

改訂日 2017年12月1日

## 1 化学品及び会社情報

|          |                                   |
|----------|-----------------------------------|
| 化学品の名称   | 濃縮カラム 絶縁油中PCB用                    |
| 会社名      | 株式会社シーズテック                        |
| 住所       | 京都市西京区御陵大原1-39 京大桂ベンチャープラザ南館2113号 |
| 担当部門     | 京都バイオ研究所                          |
| 電話番号     | 075-382-3001                      |
| FAX番号    | 075-382-3005                      |
| 緊急時の電話番号 | 089-906-7110                      |
| 整理番号     |                                   |

## 2 危険有害性の要約

## GHS分類

|           |   |
|-----------|---|
| 健康に対する有害性 | 標的臓器／全身毒性(単回暴露) 区分3<br>標的臓器／全身毒性(反復暴露) 区分1<br>上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。 |
|-----------|---|

## ラベル要素

## 絵表示又はシンボル



健康有害性

## 注意喚起語

危険

## 危険有害性情報

呼吸器への刺激のおそれ  
長期または反復暴露による臓器(肺:吸入)の障害  
目、皮膚、粘膜等を刺激し、炎症を起こすことがある。  
呼吸器を刺激し、皮膚に付着すると炎症を起こすことがある。  
経口摂取すると口腔、喉に灼熱感があり、食道、消化器の粘膜を侵す恐れがある。

## 注意書き

## 安全対策

保護手袋/衣類および保護眼鏡/保護面を着用すること。  
取扱い後はよく洗うこと。粉塵またはミストを吸入しないこと。

## 応急措置

吸入した場合:新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。

## 保管

直射日光を避け、風通しのよい乾燥した冷暗所に、容器を密閉して保管する。

## 廃棄

No. GHS-0086

## 3 組成および成分情報

単一製品・混合物の区分 単一  
 化学名(一般名) アルミナカラム  
 構成成分

| 成分       | 含有量 % | 化学特性(化学式)                      | 官報公示整理番号 | CAS No.   |
|----------|-------|--------------------------------|----------|-----------|
| 酸化アルミニウム | 100   | Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> | 1-23     | 1344-28-1 |

危険有害成分 酸化アルミニウム(安衛法 通知対象物)

## 4 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移動し、多量の水または温水でうがいを  
 行い、速やかに医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合 直ちに付着又は接触部を多量の水で洗い、よく落とす。  
 速やかに医師の手当を受ける。

目に入った場合 直ちに清浄な多量の流水で15分以上洗眼する。その際は  
 瞼を開き水が全面にゆきわたるように行う。  
 速やかに医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合 口腔を水洗し、医師の手当を受ける。

応急措置をする者の保護 適切な保護具を着用する。被災者の衣服等に付着した本製品の皮  
 膚への付着、眼への接触を避ける。

## 5 火災時の措置

特定の消火方法 周辺火災の場合は安全な場所に移送する。移送が不可能な場合  
 は散水冷却によって容器の温度上昇を防ぐ。

消火剤 不燃性  
 周辺火災の場合には、状況に応じた消化剤を用いる。

火災時の特定危険有害性 発災した周辺で危険の及ぶ範囲の人を安全な場所に退避させる。  
 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。  
 消火作業は可能な限り風上から行う。  
 製品及び消火水等が下水、河川、海域へ流出しないように処置す  
 る。

消火を行う者の保護 消火作業の際は、ゴーグル型保護眼鏡、ゴム製保護手袋、保護  
 衣、保護長靴、呼吸保護具を着用する。

## 6 漏出時の措置

人体に対する注意事項 漏出時の措置の際は、ゴーグル型保護メガネ、ゴム製手袋、ゴム製  
 保護衣、ゴム製保護長靴、有機ガス用防毒マスクを着用し、飛沫等  
 が皮膚などに付着しないようにする。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入り  
 を禁止する。

作業は風上から、保護具を着用して行う。

|                      |  |
|----------------------|--|
| 環境に対する注意事項           | 漏出防止の措置をする。<br>製品が下水・河川・海域に流出しないように処置する。   |
| 除去方法                 | 飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。適切な<br>らば、粉塵の飛散を防ぐためにまず湿らせる。真空で吸い取るなど<br>粉塵が飛散しない方法で回収する。残りは大量の水で洗い流す。  |
| 二次災害の防止策             | 周囲の住民、交通機関等に影響を及ぼす可能性のある場合は、関<br>係官庁及び(株)シーズテックの緊急連絡先へ通報する。  |
| <b>7 取扱い及び保管上の注意</b> |  |
| 取扱い                  |  |
| 技術的対策                | 換気設備等で換気する。<br>取扱い場所の近くに手洗い、洗眼などの設備を設ける。   |
| 注意事項                 | 取扱いは換気のよい場所で行う。<br>容器は破損につながる粗暴な取扱いはしない。   |
| 安全取扱い注意事項            | 取扱いの際には、ゴーグル型保護メガネ、ゴム製手袋、ゴム製保護<br>衣、ゴム製保護長靴、有機ガス用防毒マスクを着用する。<br>取り扱い後は、顔、手、口等を水洗する。<br>取扱い場所の近くに手洗い、洗眼などの設備を設ける。                         |
| 保管                   | 取扱い場所の近くに手洗い、洗眼などの設備を設ける。  |
| 適切な保管条件              | 直射日光を避け、乾燥した冷暗所に保管する。通気のよい場所で<br>容器を密閉して保管する。<br>取扱い場所の近くに手洗い、洗眼などの設備を設ける。   |
| 技術的対策                | 水濡れを避ける。   |
| 混触禁止物質               | 200°C以上でハロゲン化炭化水素と接触すると、有毒な塩化水素と<br>ホスゲンガスを発生する。<br>酢酸ビニル蒸気と激しく反応することがある。ニフツ化酸素と反応<br>し、発熱もしくは爆発的に反応することがある。三フツ化塩素と激しく<br>反応し、発火することがある。 |
| 安全な容器包装材料            | 現在のところ情報なし。  |
| <b>8 暴露防止及び保護措置</b>  |  |
| 設備対策                 | 作業場には換気設備等を設ける。<br>取扱い場所の近くに洗眼、手洗い、洗身等の洗浄設備を設け、その<br>位置を明確に表示する。   |
| 管理濃度                 | 作業環境評価基準に記載なし。   |
| 許容濃度                 |  |
| 日本産業衛生学会             | [第1種粉塵として] (2002年度版)<br>0.5 mg/m <sup>3</sup> (TWA)(吸入性粉塵)<br>2 mg/m <sup>3</sup> (TWA)(総粉塵)   |
| ACGIH                | 10mg/m <sup>3</sup> (TWA) (2002年度版)  |

## 保護具

|            |                       |
|------------|-----------------------|
| 呼吸器の保護具    | 防塵マスク、呼吸保護具(状況に応じて使用) |
| 手の保護具      | ゴム製保護手袋               |
| 眼の保護具      | ゴーグル型保護メガネ            |
| 皮膚及び身体の保護具 | 保護衣、保護長靴(安全靴)         |
| 適切な衛生対策    | 作業中は飲食、喫煙をしない。        |

## 9 物理的及び化学的性質

|                      |                             |
|----------------------|-----------------------------|
| 物理的状态                | 個体                          |
| 形状                   | 球状                          |
| 色                    | 白色                          |
| 臭い                   | 無臭                          |
| pH                   | データなし                       |
| 物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲 |                             |
| 沸点                   | 2072 °C                     |
| 融点                   | 2980 °C                     |
| 引火点                  | 不燃性                         |
| 蒸気圧                  | 0.1 kPa/2158°C              |
| 密度                   | (比重)3.97 (20/4)( $\alpha$ ) |
| 溶解性                  |                             |
| 溶媒に対する溶解性            | 水に不溶。                       |

## 10 安定性及び反応性

|          |           |
|----------|-----------|
| 安定性      | 通常条件では安定。 |
| 反応性      | 反応性なし     |
| 危険な分解生成物 | 特になし。     |

## 11 有害性情報

|      |            |
|------|------------|
| 急性毒性 | 情報なし。      |
| 局所効果 | 現在のところ知見なし |

## 12 環境影響情報

現在のところ知見なし。

## 13 廃棄上の注意

|      |   |
|------|---|
| 廃棄方法 | この製品及び容器は、適法な設備、方法で処理する。<br>ただし、周辺環境や生態系に対して無害かつ安全に処理するためには十分な設備及び知識が備わっていなければならない。処理作業に不安が伴う場合は、正式許可を得た処理業者に内容を開示した上で処理を委託することが望ましい。 |
|------|---|

## 14 輸送上の注意

|                |  |
|----------------|--|
| 国連分類           | 国連分類の定義上危険物に該当しない。 国連番号 なし   |
| 輸送の特定の安全対策及び条件 | 荷崩れ、落下などに注意する。<br>輸送作業は取扱い及び保管上の注意事項に留意して行う。<br>荷役中の取り扱いは慎重丁寧にし、落下・衝撃等により容器を傷め漏洩させないように取り扱う。 |

## 15 適用法令

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 毒物及び劇物取締法                   | 非該当   |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(特別管理産業廃棄物) |   |
| 労働安全衛生法                     | 第57条の2(令第18条の2)<br>名称等通知すべき有害物 No. 189 酸化アルミニウム |
| 化学物質管理促進法<br>(PRTR法)        | 非該当   |

## 16 その他の情報

## 引用文献

13700の化学商品、化学工業日報社(2000)  
 化学物質規制・管理実務便覧(化学物質管理実務研究会)2004  
 化学物質の危険・有害便覧(中央労働災害防止協会)2000-2001  
 製品評価技術基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp/ghs/list.html>  
 記載内容の問い合わせ先 (株)シーズテック

電話 089-906-7110 FAX 089-993-8035

改訂の記録 作成日 2010年5月21日

改訂日 2017年12月1日

※ 記載された内容は、一般的に入手可能な情報やメーカー所有の知見によるものですが、すべての資料および文献を調査したのではなく、含有量、物理化学的性質、危険有害性などに関しては、いかなる保証をなすものではありません。従って、ここに記載した製品の取扱い又は保管時における事故に対して責任を保証するものではありません。また、新しい知見によって改定されることがあります。

※ 記載された注意事項は通常取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、十分な安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上

No. GHS-0086